「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート(A:裁量有)

記入日 令和 3 年 4 月 5 日

	_															
#	業	名 称				なん	がい	児童館運営費	[な]	んがい)児童館運	営事業]				
Ţ	37.			民生費	項	2	児童福祉	費	B	6	児童館	費	Į.	事業番号	5 4	
事業の種別 □ 市単独 □ 補助対象 □ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)																
担当部署・課長名 🏥					青生	少年 課 青少年育成 係			系 課長	課長名 石川 博隆		隆				
この仕事は、どの【施策】の課題を解					D課題を解	決するための手段ですか。				策番	를 등	2	_	4		
【施策名】 児童福祉の推進						総							59			
	誰(何)を対象にしています					<u></u> か	かり、一切の対象数か				まな あら	(ページ かす <i>もの</i>		岩煙)		
						<u>~。</u> 幼児・児童と		① ●の対象数や量を、あらわすもの市内の0~18歳未満の乳幼児・児童								
	護君	当 。								F3月1日現在)						
1	0															
_			見童が	遊びな	り行事を通し	じて成長できる	る場に				(延べ人数					
この	する ②		かして	遊び、	保護者同二	上の交流・情報	最交換	西 (4)回か		くして	来館者数	(延べ人数	纹)			
仕		できるように						(2)保護								
事						1										
の目	③	そのため	に何	をしる	ましたか。			3 8	Eどの	くらし	1行いまし	たか(活	動指標))		
的		記童の居場所 を館の実施。		供。児	電向け行	『の開催。ラン	ンドt									
	25	乳幼児の遊び	び場、			流·情報交換((日数)					
		共。乳幼児親 D実施。	見子向	け行事	写開催。1歳	• 2歳児親子	サー	ク 😝 ②年間:	と施回]数						
	,,,,,	JJ (1000						(1)乳幼 (2)1歳			付事 クル/2詞	短親子 5	ナークル			
								(2)	0,100	, ,	<i></i>	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
					単位	過去2年		平間の実績 平成31年度実績		当該年度			成果		標	
			_							今和?	7年中华	←±□			令和4年月	き日標
	-		1	_	_	1/8004/82	V (1)	1701110	`	TJYUZ	2年度実績	C U↑CT	3年度目標		11/11/4/1/2	
2	Ż	対象指標	1	の数値	i 人	13,5		13,32		73/10/2	13,17		3年度日標		13/10 4 4 / 3	
2						13,5	070	13,32	8	73702	13,17	8	3年度目標		1340 4 4 7 5	
指		対象指標 大果指標		の数値		13,5	533 070 623	13,32	8	73 / 10 / 2	13,17	8	3年度目標			
	Þ	戈果指標	2	の数値	人	13,5 ①25, ②(1)1,	533 070 623	13,32 ①25,0 ②(1)1,0	8	T3 AU 2	13,17 ①13,90 ②(1)45	8	3年度目標			<i></i>
指標の推		戈果指標	[2] (五) (日標(の数値)目標値 直設定	人 直 の考え方	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1,	533 070 623 496	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0	8 21 92 50		13,17 ①13,90 ②(1)45 (2)36	8 09 59 66	/		/	
指標の堆	Þ	戈果指標	[2] (五) (日標(の数値)目標値 直設定	人 直 の考え方	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1,	533 070 623 496	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0 あわせ臨時休館	8 21 32 50 人数		13,17 ①13,90 ②(1)45 (2)39	8 09 59 96 デッたため	/		/	
指標の推	厄 E	対果指標 目 標	2 2 目標(令和2	の数値)目標値 値設定 2年度(人 直 の考え方 は、国の緊	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1,	533 070 623 496 令に	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0 あわせ臨時休館 ①(1)3 (2)29	8 21 32 50 人数 4 4		13,17 ①13,90 ②(1)45 (2)36	8 09 59 96 デったため 7	/		/	/
指標の推	厄 E	戈果指標	2 2 目標(令和2	の数値)目標値 直設定	人 直 の考え方 は、国の緊	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1, 急事態宣言発 ①(1) (2)2 ②(1)	533 070 623 496 令に 40 290	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0 あわせ臨時休館 ①(1)3 (2)29 ②(1)2	8 21 32 50 人数 4 4 4 7		13,17 ①13,90 ②(1)4년 (2)39 引制限等を1 ①(1) (2)29 ②(1)1	8 09 59 69 7 7 2 4	/		/	
指標の推	序 E	対果指標 目 標 5動指標	2 2 目標(令和2	の数値 D目標値 直設定 2年度の の数値	人の考え方は、国の緊	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1, ①1)1, ②事態宣言発 ①(1) (2)2 ②(1) (2)19/	070 623 496 令に 40 290 30 25	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0 あわせ臨時休館 ①(1)3 (2)29 ②(1)2 (2)17/2	8 21 32 50 人数 4 4 7 1	7•時間	13,17 ①13,90 ②(1)45 (2)39 ①(1) (2)29 ②(1)1 (2)0/	8 09 59 96 7 7 2 4 7	/		/	
指標の推	序 E	対果指標目標手類指標	2 2 目標(令和2	の数値 D目標値 直設定 2年度の の数値	人 <u>あ考え方</u> は、国の緊 一	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1, 急事態宣言発 ①(1) (2)2 ②(1) (2)19/ 14,197,0	623 496 496 40 90 30 25 013	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0 あわせ臨時休館 ①(1)3 (2)29 ②(1)2 (2)17/2	8 21 32 50 人数 4 4 7 1	(•時間	13,17 ①13,90 ②(1)4 (2)39 引制限等を1 ①(1) (2)29 ②(1)1 (2)0/ 5,046,26	8 09 59 69 7 7 2 4 7 4 ※人件書	の、目標値	設定数は、	不能。	ila
指標の推	月月月月日	対果指標言 標	2 2 目標(令和2 3 (の数値 D目標値 直設定 2年度(の数値	人 動 の考え方 は、国の緊 回 円	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1, ①1)1, (2)2 ②(1) (2)19/ 14,197,0 12,963,0	623 496 令に 490 130 130 13	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0 あわせ臨時休館 ①(1)3 (2)29 ②(1)2 (2)17/2 13,740,66 12,038,96	8 21 32 50 人数 4 4 7 1	(·時間 16 13	13,17 ①13,90 ②(1)4 (2)39 ①(1) (2)29 ②(1)1 (2)0/ 5,046,26	8 09 59 59 66 7 7 2 4 4 7 7 4 ※人件 7 ついてに	か、目標値 動では時間数では時間を	設定数すの表が表示	不能。	はははます。
指標の推移	月 日	文果指標 目 標 動指標 一般財源 特定	2 (国 · (国 · (国 · ()) (U	の数値 回目標位 直設定 2年度 の数値 に続う を続う	人 の考え方 は、国の緊 一 円 円	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1, (2)1, (2)1, (2)2 ②(1) (2)19/ 14,197,0 12,963,0 1,234,0	633 070 623 496 496 290 130 725 013 000	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0 あわせ臨時休館 ①(1)3 (2)29 ②(1)2 (2)17/2 13,740,66 12,038,96	8 21 32 50 人数 4 4 7 1 1 1	(·時間 16 13	13,17 ①13,90 ②(1)46 (2)39 引制限等を1 ①(1) (2)29 ②(1)1 (2)0/ 5,046,26	8 09 59 59 66 7 7 2 4 4 7 7 4 ※人件ずっている。	の ・ 目標値 の 所要人 まで は お も の が の が の が の が の に な ら に は ら に は ら に は ら に に に に に に に に に に に に に	設としている。 数すの時間はが表間している。	不能。 基本的になった。 というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	はははます。
指標の推移 3	月月月月日	文果指標 目 標 動指標 一般財源 特定	2 目標/ 令和2 3 (国·	の数値 D目標値 直設定度 の数値 軽績) ・負	人 の考え方 は、国の緊 一 一 一 円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1, ①1)(2)1, ①1(1)(2)2 ②(1)(2)19/ 14,197,C 12,963,C 1,234,C	633 070 623 4496 0140 290 130 013 000 000	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0 あわせ臨時休館 ①(1)3 (2)29 ②(1)2 (2)17/2 13,740,66 12,038,96 1,701,70	8 21 32 50 4 4 4 7 1 1 1 0	(·時間 16 13	13,17 ①13,90 ②(1)45 (2)36 ①(1) (2)29 ②(1)1 (2)0/ (2)0/ (2)046,26 (2)026,04 (2)020,22	8 09 59 59 69 7 7 2 4 7	の、目標値 一般で表記である。 で表記である。 ののである。 ののである。 ののである。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	定 数すの時 職3,380	本能。基本時のなり、これには、大学のでは、まればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	はははます。
指標の推移	D D D D D D D D D D	************************************	2 の 1 標	の数値 2年度 の数値 ※	人 の考え方 は、国の緊 日 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1, ①1)(2)1, ①1(1)(2)2 ②(1)(2)19/ 14,197,C 12,963,C 1,234,C	633 070 623 496 496 290 130 725 013 000	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0 あわせ臨時休館 ①(1)3 (2)29 ②(1)2 (2)17/2 13,740,66 12,038,96 1,701,70	8 21 32 50 人数 4 4 7 1 1 1	(·時間 16 13	13,17 ①13,90 ②(1)45 (2)36 ①(1) (2)29 ②(1)1 (2)0/ (2)0/ (2)046,26 (2)026,04 (2)020,22	8 09 59 59 66	は	設	不能。 基本的になったに 以外) の〇〇円 3〇〇円	はははます。
指標の推移 3経		文果指標 書 標 ・ 動指標 ・ 一般財源 ・ 一般財源 ・ 所要人数(i)	② (五) 目標(令) 令和(金) (五) (五) (五) (五) (五) (五) (五) (五) (五) (五	の数値 回標に 2年度 の数値 都者 3以外 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	人 画 の考え方 は、国の緊 回 円 円 円 円 八 人	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1, ①1)(2)1, ①1(1)(2)2 ②(1)(2)19/ 14,197,C 12,963,C 1,234,C	633 070 623 4496 140 290 130 725 013 000 11.0	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0 あわせ臨時休館 ①(1)3 (2)29 ②(1)2 (2)17/2 13,740,66 12,038,96 1,701,70	8 21 32 50 4 4 7 1 1 1 0 0	7·時間 16 13 3	13,17 ①13,90 ②(1)45 (2)36 ①(1) (2)29 ②(1)1 (2)0/ (2)0/ (2)046,26 (2)026,04 (2)020,22	8 09 59 66	はではらず きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう ではらず きゅう ではらず ではらず ではい 大まで 「 用 で だ 成 で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	設 数すの時 職3, さ31 はが表間 員84,い年	不能。 基本的にない。 基本的なとした。 以外)の〇〇円 度決算数(は仕まて、直。
指標の推移 3経	月 日 記 財源 人件費 (文果指標 書 標 ・ 動指標 ・ 一般財源 ・ 特定財源 ・ 特定財源 ・ 所要人数(呼所要人数)(呼所要人数)(呼	② (国 ·)	の数値 2年度 の 数値 2年度 (人 画 の考え方 は、国の緊 回 円 円 円 円 八 人	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1, (2)1, ①(1) (2)2 ②(1) (2)19/ 14,197,0 12,963,0 1,234,0 19,0	633 070 623 4496 140 290 130 725 013 000 11.0	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0 あわせ臨時休館 ①(1)3 (2)29 ②(1)2 (2)17/2 13,740,66 12,038,96 1,701,70 16,70	8 21 32 50 4 4 7 1 1 1 0 0	7·時間 16 13 3	13,17 ①13,90 ②(1)46 (2)36 引制限等を1 ①(1) (2)29 ②(1)1 (2)0/ 5,046,26 5,026,04 5,020,22	8 09 59 66	した。 はいます。 はいます。 ではいまする。 ではなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	設 数すの時 職3, さ31 はが表間 員84,い年	不能。 基本的にない。 基本的なとした。 以外)の〇〇円 度決算数(は仕まて、直。
指標の推移 3経			② (五)	の数値 2年の数値 2年の数値 3月 1日 2年の数値 4年の数値 4年の数値 4年の数値 4年の数値 4年の対象 4年の表 4年の表象 4年の表 4年の表 4年の表 4年の表 4年の表 4年の表 4年の表 4年の表	人 動 の考え方 は、国の緊 回 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1, (2)1, ①(1) (2)2 ②(1) (2)19/ 14,197,0 12,963,0 1,234,0 19,0	633 070 623 4496 140 290 130 725 013 000 11.0	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0 あわせ臨時休館 ①(1)3 (2)29 ②(1)2 (2)17/2 13,740,66 12,038,96 1,701,70 16,70	8 21 32 50 4 4 7 1 1 1 0 0	7·時間 16 13 3	13,17 ①13,90 ②(1)46 (2)36 引制限等を1 ①(1) (2)29 ②(1)1 (2)0/ 5,046,26 5,026,04 5,020,22	8 09 959 66	はではらず きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう ではらず きゅう ではらず ではらず ではい 大まで 「 用 で だ 成 で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	設 数すの時 職3, さ31 はが表間 員84,い年	不能。 基本的にない。 基本的なとした。 以外)の〇〇円 度決算数(は仕まて、直。
指標の推移 3経	月 日 記 財源 人件費(目安)	文果指標 事 業 事 般財 (う数) (下要人人件事 で) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大	②の ②の 目標 令和 ③ (写	の数値 2年の数値 2年の数値 3月 1日 2年の数値 4年の数値 4年の数値 4年の数値 4年の数値 4年の対象 4年の表 4年の表象 4年の表 4年の表 4年の表 4年の表 4年の表 4年の表 4年の表 4年の表	人	13,5 ①25, ②(1)1, (2)1, (2)1, (2)2, ②(1) (2)19/ 14,197,0 12,963,0 1,234,0 19,0	633 070 623 4496 140 290 130 725 013 000 11.0	13,32 ①25,0 ②(1)1,0 (2)1,0 あわせ臨時休館 ①(1)3 (2)29 ②(1)2 (2)17/2 13,740,66 12,038,96 1,701,70 16,70	8 21 32 50 4 4 7 1 1 1 0 0	7·時間 16 13 3	13,17 ①13,90 ②(1)46 (2)39 引制限等を1 ①(1) (2)29 ②(1)1 (2)0/ 5,046,26 5,026,04 5,020,22	8 09 959 66	はではらず きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう きゅう ではらず きゅう ではらず ではらず ではい 大まで 「 用 で だ 成 で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	設 数すの時 職3, さ31 はが表間 員84,い年	不能。 基本的にない。 基本的なとした。 以外)の〇〇円 度決算数(は仕まて、直。

通常の児童館運営に加え、学童の待機児童対策の一環として平成20年度からランドセル来館事業を開始し、現在では学童と独立した児童預かり事業として機能している。

また、子育て支援の必要性が高まり、児童のみならず乳幼児とその保護者を対象にした子育て支援事業についても取り組んでいる。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館及び行事の中止があったため、利用者数等が減少した。

4環境変化

等

事 業	名	称		なんがい児童	館運営費 [なんがい]	児童館運	営事業]	
担当部署	• 課長	長名	青少年	課	青少年育成	係	課長名	石川 博隆

5 市	この仕事に関して、 介 について	3和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識						
民等の意見		-が悪い。 (子育て世帯)のニーズは高い。 「事が開催できなかったが、行事の開催を待ちわびている利用者(特に乳幼児親子)が多かった。						
6市民協働		あたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、 を記載してください。 (複数回答可)						
	✓ 取り組んだ	取組手法:③事業協力						
	□ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()						
	(2)令和3年度に向け	、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点						
	十分な感染症対策等を実 必要がある。	施したうえでの市民協働の形態について検討するため、コロナ禍における行事の開催方法について検討する						
	(1)令和2年度に課題	とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題(3)を転記)						
	日々の清掃など、業務内容の細部を見直し、業務の効率化を図る。							
7	(2)(1)の課題解決に	向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。						
課題	館内の備品整理や模様替え等を進め、清掃や掲示等の日常的な作業の効率化を図った。 感染症対策に係る作業(消毒等)についても、作成したチェックリストに基づき行うなど、効率化に努めた。							
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)							
	乳幼児親子の来館者数カ 日常作業の効率化を引き							
8	施策貢献状況 (こ	の仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)						
	施策名: 児童福祉の	推進						
	☑ なっている □ 環:	境の変化等により成果が減少している 🗌 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名 ()						
	(1)仕事の方向性(「	7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)						
	□ 拡大 ☑ 現状維持	F □縮小 □休止 □廃止						
9	【取組内容】							
今後の方	コロナ禍でも実施できえるような魅力ある児	る児童向け行事、乳幼児向け行事の充実や、子育て支援施策の充実など、日常的に来館してもら 記童館を形成する。						
白		5たり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等						
性	ある。	こある。 望しや、行事以外での乳幼児親子対象施策の充実など、現状をふまえて行事計画を検討する必要が 空を図るため、会計年度任用職員を必要数確保する。						